

平成 30 年度:相談内容

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援（専門職対象）

相談者	件数	内容
訪問看護職	1	点滴針がブラごみに混在 在宅医師の廃棄方法に差
介護職	2	「看取りケア」の講師依頼・HP研修資料「急変時対応」
地域包括支援センター	2	医療依存の高い患者の療養生活相談
ケアマネジャー	1	歯科マップ掲載の訪問歯科診療申請と実際の差異
県外の地域連携室	1	かかりつけ医と訪問看護ステーションの紹介
一般	1	病児ケア児のGH設置について
他圏域	3	もしバナゲームの講師依頼
その他	数件	エンディングノートの要望
合計	11件+α	

◆相談から見えた課題

- ・相談対象は、高齢者に限らず難病や小児など多岐に渡る
- ・構成団体の連携不足
- ・高齢者の相談は地域包括支援センターが窓口になっているが医療相談など完結できているか不明
- ・介護関係者に看取りケアの考え方を啓発

◆次年度に向けて

- ・支援センターの事業会議に歯科医師会／薬剤師会の事務局・担当訪問看護師の出席を促す
- ・地域包括支援センターと情報交換会
- ・介護職対象に出前講座を開催

**人生の最終段階において
あなたにとって大切な事を考えてみませんか**

湖北地域に在住の方へ、出前講座第2弾のお知らせ
「いざという時」ご自身の意向が伝えられないことが多く、事前に考えてあなたの意思を信頼する方に伝えておく事は大切です。
タブーになりがちな内容を、ゲーム感覚で考え、文字化し話し合う事で人生の最終段階の医療や介護について「自分はどうしたいか」を考えて整理します。



あなたにとって大切なカード3枚を選択します

選んだ理由をグループの中で共有します

～もしバナゲーム～

いざという時の判断に役立つ為に

他の方の意見を参考に自身の価値観を広げましょう

湖北地域在勤の医療介護福祉関係者の方へ
日々の業務やあなたの経験から、人生の最終段階の医療やケアについて「どのようにして欲しいか」を自身で考えて、お隣さんとシェアしましょう。自身に置き換えることで利用者さまの気持ちに寄り添うことができます。自分にして欲しくない事はきっと誰にとっても嫌なものです。
また、「看取りケアとは何か」を学習する事で、自信をもって利用者様やご家族の不安にも寄り添うことができます。
当センターでは、施設に赴いて「看取りケア」について一緒に考える講座を開催しています。

● 講座開催にかかる費用は無料です
● 当センターで作成したエンディングノートなど資料を配布します
● 講座にかかる備品は持参します

お申し込みは
長浜米原地域連携支援センターへ
TEL/FAX 65-2755

～死への軟着陸に向けて～
看取り段階の医療やケアの考え方

